

松前町

# 議会だより

No.99

2018年11月1日発行

愛媛県伊予郡  
松前町議会

9月定例会



3P 9月定例議会 **決算認定**

4P 委員会ニュース **決算審議**

- 12P **一般質問**
- ・小中学校のエアコン設置は
  - ・町民を守る予算配分の優先順位は
  - ・スクールサポート・スタッフの配置は
  - ・子育て支援の充実に向けて
  - ・障がい者雇用率は

18P **研修報告** 保育士確保対策を学びに **ほか**

平成29年度 決算審査

前年度比3.8%減

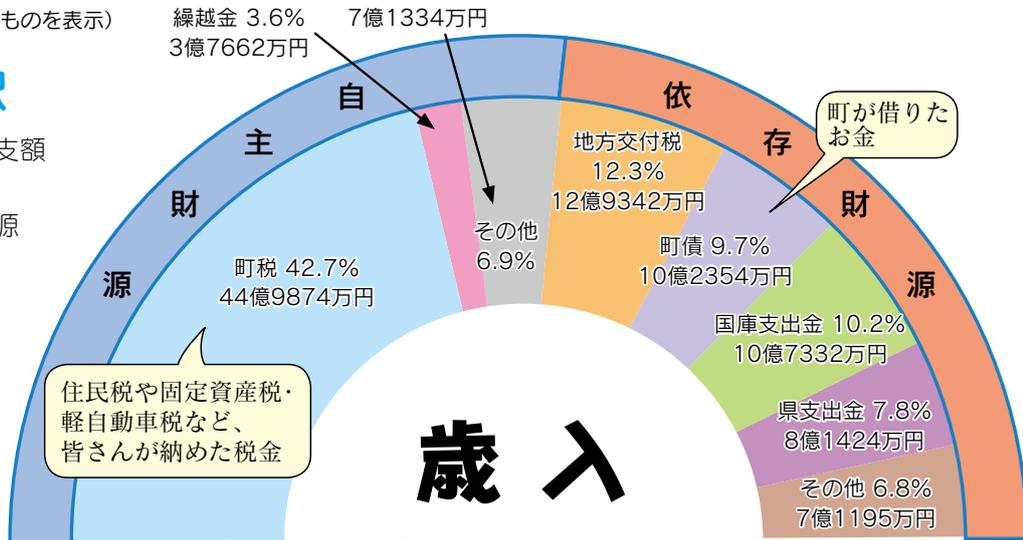
一般会計

105億円の使い道は!?

(前年比の増減の大きなものを表示)

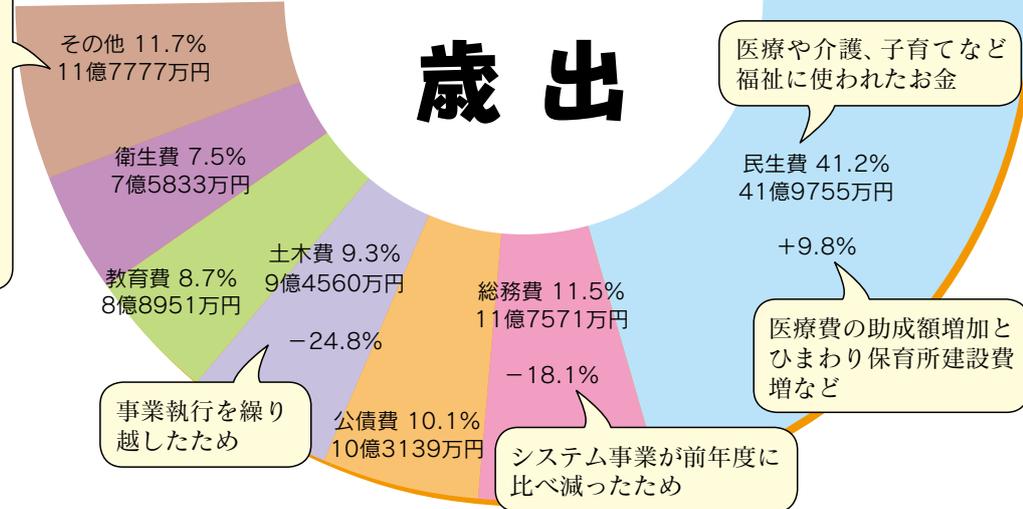
決算の内訳

- ・一般会計形式収支額  
3億2930万円
- ・翌年度 繰越財源  
3592万円
- ・実質収支額  
2億9338万円



歳入  
105億 519万円

101億7588万円 (前年比の増減の大きなものを表示)



歳出

- 一項目の内訳
- ・議会費  
1億736万円
  - ・農林水産業費  
2億6024万円
  - ・商工費  
1億1101万円
  - ・消防費  
4億8500万円
  - ・諸支出費  
2億347万円

そのほか会計別決算状況

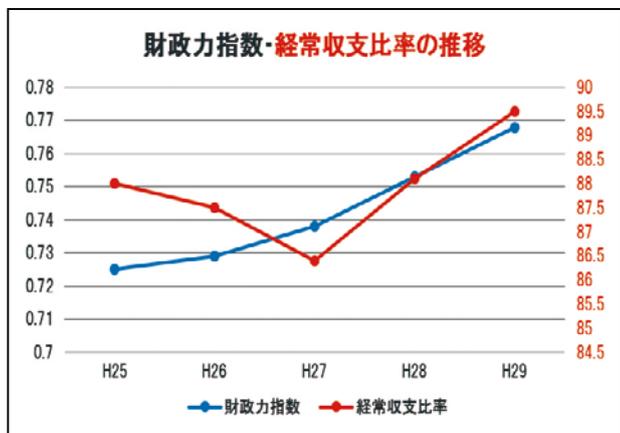
会計名	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	40億7755万円	36億9549万円
後期高齢者医療特別会計	4億6793万円	4億4602万円
介護保険特別会計	27億6564万円	26億8113万円
公共下水道事業特別会計	6億3374万円	6億1994万円
水道事業会計	収入	支出
収益的 収入・支出	4億4577万円	4億3281万円
資本的 収入・支出	1億3066万円	3億523万円

**【財政力指数は】0.768**  
 指数が1に近いほど自主財源の割合が高い。昨年度より若干の改善。

**【経常収支比率は】89.5%**  
 財政の弾力性を示す指標。低いほど政策に使える財源が多い。29年度は経常経費の増大により悪化した。(70%以下が理想)

**【実質公債費比率は】9.1%**  
 収入に対する負債返済の割合。少ない方がいいのだが、昨年度から徐々に減っており、29年度も健全な状況といえる。

29年度の決算審査では、一般会計に4つの特別会計、1つの事業会計を含む総額を認定した。



★平成29年度の歳入歳出決算は、健全な財政運営と適正な事務処理が行われている。財政の弾力性に留まっている。

財政力指数は前年を上回ってはいるものの経常収支比率は若干悪化している。財政の弾力性に留



代表監査 安永紀雄氏

監査委員からの意見

★限られた財源を有効かつ計画的に執行するための地方公会計の導入につ

★事務事業評価は、目標達成のため事務改善を行うことで行政サービスの向上を図る目的で導入したのだから、広く住民にも周知すべきものと考えられる。

★歳出面では、予算配分の重点化、効率的な事業の実施を図るとともに内部統制におけるリスク管理をし、不断の行政改革を。不用額については、予算の積算内容を精査し適切な予算額の計上に努められたい。

★第4次松前町総合計画の施策や公約の実行のためには、安定した財源確保が不可欠だ。

★歳入面では、大幅な町税収入の伸びは期待できないので「愛媛地方税滞納整理機構」との連携等で高い徴収率を維持する努力をして収入未済金の改善を求める。

意し、更に適正な財政運営に心掛けられたい。

## 平成29年度の主な目玉事業は

二段表示は  
 上段：事業決算額  
 下段：自主財源額  
 ※差額は依存財源（国・県の補助金と町債を充てています）

・松前ひまわり保育所新設

4億4185万円  
2435万円

・防災整備

1288万円  
(避難所機能の強化目的)

・ひとり親家庭医療費助成

2529万円

・地域農業支援

300万円  
101万円  
(設備などの導入費用に)

・町立保育所の安全管理

261万円  
(防犯カメラ設置)

・JRR車両基地・貨物駅等周辺整備対策

8829万円  
1292万円

・幹線町道整備工事

1億2215万円  
2015万円

・消防団装備品購入

168万円  
62万円

・公園管理

2169万円  
186万円  
(黒田公園に新遊具設置)

・公園整備

1943万円  
494万円  
(台地泉公園整備工事)

・工場等設置奨励

4000万円  
(条例に基づき交付)

・水産業振興育成

421万円  
(ハモ用水槽新設、改修充填機購入の補助)

# 委員会 ニュース

## 予算決算

### 一般会計

#### 議案第53号

#### ◎「総務部所管」

**問** 職員の時間外勤務時間の偏りは。

(藤岡議員)

**答** 選挙や水防の事前対応等があり、時間外勤務が多くなっている。毎水曜日にノー残業デーを実施している。

**意見** 突発的な災害は仕方がないが、ある程度分かっているものは職員間で負担軽減し、分散するように。

## 平成29年度松前町歳入歳出決算認定審査

**問** 新ふるさとづくり総合支援事業費補助金の内容は。

(岡井議員)

**答** ①防災マップ、防災用のパネル地図作成等を行う「防災・減災事業」  
②海外ホッケーチームを招へいし、国際交流を行う「ホッケーのまちづくり推進事業」の二つだ。

**問** 経常収支比率が高くなっていることに対する対応は。

(岡井議員)

**答** 人件費や扶助費など経常的に支出される経費が増加している。毎年1億円以上増加している。事業の見直し等により、経費の削減に努めたい。

**問** 町税等の徴収率向上の取組は。

(藤岡議員)

**答** 税金に未納のある人に催告書を送付しており、催告しても完納にならない場合は、預貯金、生命保険等の財産調査を、滞納金額にかかわらず全件について徹底して実施している。納税は義務であるため、財産を発見した場合等は差押えを行う等、継続的な徴収事務に取り組んでいる。

**問** ◎「産業建設部所管」はだか麦プロジェクトの成果と補助金は。

(早瀬議員)

**答** 平成29年度は、おいしい料理販売店として新たに2店舗を認定した。イベント等にも出店し、はだかむぎゆの販売を行った。補助金の期間は平成32年度までである。

**意見** もう少し金額を上乗せし、今後の事業に取り組んでいただきたい。

**問** 町営住宅の修繕費と家賃収入は。

(岡井議員)

**答** 退去後に残された設備を使用することについて検討し、修繕費の削減に努める。分割納付を引き続き行うなど、家賃の徴収率を上げること考えていきたい。

**意見** 町営住宅では100戸近く空いている。うまく利用し、修理費の埋め合わせをしていただきたい。

**問** 長尾谷川遊水池等樋門及び排水ポンプ保全委託の理由は。

(村井議員)

**答** 長尾谷は夫婦、早船、土川の3か所の樋門管理や湛水防除などを稼働させる業務を行うため、作業が多岐にわたるため、規模が大きいため、委託をしている。

**意見** 大字に業務を任せられるかどうか協議し、今後どうするか検討していただきたい。

**問** 公共下水道事業特別会計において、一次借入金金の状況は。

(村井議員)

**答** 工事が完成すると代金を業者へ支払う。その工事費に対し、後から国の補助金の受入れや地方債の借入れを行

う。年度末は業者への支払が多額となり、資金の不足分を金融機関から借入れ、国の補助金や地方債で返済している。一時的に資金が不足するため借入れを行う。



『松前町国体記念サッカー公園』にて



夫婦樋門

義農排水樋門

◎「教育委員会所管」

**問** 学校備品購入の方針は。

(藤岡議員)

**答** 各校から必要な備品を申請してもらい、調整の上、予算を配分している。

**問** 委託料不用額の原因は。

(影岡議員)

**答** 平成28年度の実績を踏まえて当初予算を計上するため、入札減少金により差が生じている。

**問** 学校生活支援員の減額は。

(岡井議員)

**答** 各学校の先生や小児科医等で構成される町教育支援委員会で、配慮が必要と判断された園児・児童・生徒に対して配置している。

保護者からの配置希望は年々増加しており、平成29年度は23人の支援員を配置した。年度途中で転出した対象者がいたため、支援員賃金を減額した。

**問** 学校の光熱費は。

(稲田議員)

**答** 太陽光発電施設の有無によって差がある。

北伊予中学校、松前中学校、岡田小学校の3校に設備があり、太陽光発電により、3校合わせて約226万円の収入を得た。



北伊予中学校の太陽光パネル

◎福祉部所管

**問** 愛顔の子育て応援事業の執行率が低い。

(田中議員)

**答** 第2子が生まれた家庭に対し、5万円分の紙おむつチケットを交付する。当初は使用率を70%と見込んでいたが、実際の使用率が半分以上であったため、使用状況を調査し、来年度予算の参考にした。

**問** 職員の超過勤務は。

(城村議員)

**答** 平成29年度から保育幼稚園係が新設され、1人当たりの超過勤務はやや減少している。しかし、もともとの事務量自体が多く、新たに発生した事務もあるため、依然、超過勤務は多い。交代しながら休みを取るよう、指導している。

**問** 旧宗意原保育所解体におけるアスベスト含有調査の時期は妥当か。

(田中議員)

**答** 解体費用設計後、改めて行った。今後、同様の設計を行う場合は、設計にアスベスト含有調査を含めるようにする。

**意見** 効率よく事務を進めるよう工夫してほしい。

**問** 交通指導員の構成は。

(藤岡議員)

**答** 交通指導員は、町内3校区で26人おり、1校区当たり10人前後で指導をお願いしている。指導員には非常勤職員として報酬を支払っている。また、交通安全協会に所属する指導員3人の人件費を、松前町と伊予市で負担している。負担割合は免許取得人口や学校数などで按分し、松前町が39・9%、伊予市が60・1%である。

**問** 低所得者への負担軽減補助は。

(藤岡議員)

**答** 国費で、介護保険料を軽減する「低所得者保険料軽減」、県費で、介護サービス利用者負担分を軽減する「低所得者対策」という補助がある。

**問** 介護保険料の滞納対策は。

(藤岡議員)

**答** 滞納者の財産調査を行った上で、不納欠損等の滞納整理を進めている。納入の必要性を十分説明し、理解を得ながら徴収に取り組む。

**問** 保険給付費の不用額は。

(影岡議員)

**答** 一人当たりの給付額が見込みより減少したことが主な理由である。

**問** 老人ホーム入所措置費の不用額は。

(岡井議員)

**答** 年度内で入所者の移動があり、予算計上時の人数と差が生じたためである。

各課への意見・要望

- ① 事業毎に執行率と不用額を明示し反省点を説明すべき。来年度予算に反省点をどう反映するのか新年度予算説明時に報告を望む。
- ② 細節(使用用途の詳細)を表示して説明してほしい。
- ③ 個人情報取り扱いについて慎重に文書管理を行っていたいただきたい。

(全員一致で認定)

事業会計

議案第54号 松前町水道事業会計決算認定

**問** 水道の有収率は。

(藤岡議員)

**答** 水道管の漏水対策を実施してきたことで少しずつ改善していたが、平成29年度は複数箇所で漏水があったと思われるため前年度を下回ったと考えられる。今後、有収率が90%を切ることがあれば、漏水調査を実施し、計画的な修理を行う。

(全員一致で認定)

# 平成30年度9月補正予算審査

議案第55号

## 一般会計

### ◎「総務部所管等」

特に質疑はなし。

### ◎「産業建設部所管」

**問** 「薬用作物生産流通体制支援事業」は。

(早瀬議員)

**答** 薬草の甘草(カンゾウ)を栽培する事業者が、殺菌水生成設備及び冷蔵保管庫を購入予定である。



収穫した甘草を滅菌する機械

**問** 「米政策改革支援事業」は。

(村井議員)

**答** 松前町特産のはだか麦(ハルヒメボシ)の作

付面積拡大分に対し、種子購入代金の2分の1を生産者に補助する。農家の件数でなく、計画面積を12ヘクタールとして予算計上している。

**問** 「認定農業者経営発展支援事業」は。

(藤岡議員)

**答** 地域で農業を主体となつて支える認定農業者が購入する農業機械の一部を助成する。コンバインとディスクロータリーを購入予定で、事業費は約820万である。



農業振興にも力を入れる松前町で



開催されたグレートパンプキンコンテスト

**問** 「道路舗装改修工事」の工事単価は。

(村井議員)

**答** 町道東6号線及び東

68号線の面積1500平方メートルの道路舗装改修工事は、舗装を剥ぎ取って打ち換えのため、オーバレイ工法に比べ工事単価が高くなる。

### ◎「教育委員会所管」

**問** 「松前幼稚園2階保育室空調設備取替工事」は。

(村井議員)

**答** 設置から19年経過し修繕が困難なため、現在設置している天井吊り下げ式と同等のエアコンと取替える。

**問** エアコン故障中で、その間の園児への熱中症対策は適切か。

(田中議員)

**答** 冷房設備の整った代替教室を使用していたため問題はなかった。

### ◎「保険福祉部所管」

**問** 認定こども園の整備に係る補助を予定していた事業が、今年度内の完成が困難となった理由は。

(村井議員)

**答** 今回は致し方なく、

町としてもこのまま認定こども園ができないとなると、待機児童の関係もあり「子どもに迷惑がかかる」ことになる。やむを得ず補正で減額をし、計画を1年ずらすこととした。遅くとも年内に開発許可申請ができるとの回答をもらっている。

**問** 「公共施設温暖化対策推進事業」は。

(藤岡議員)

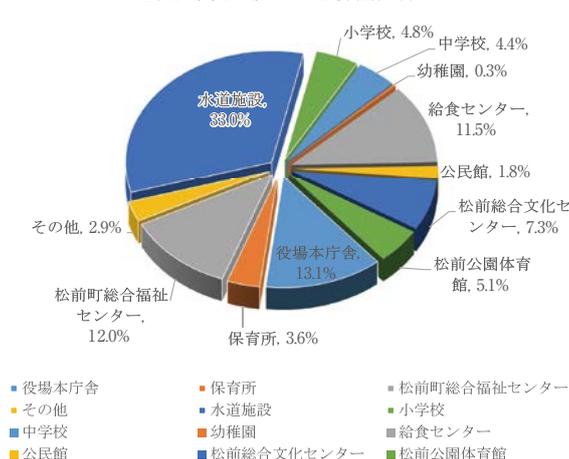
**答** 環境省の「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助事業」の執行団体である、一般財団法人環境イノベーション情報機構に、平成30年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金にて松前町の公共施設の管理、運転状況調査、省エネ診断等を委託し、新たな第4次地球温暖化対策実行計画の策定を行うものである。

(全員一致で可決)



エアコンが松前幼稚園保育室の天井に

2017年度施設別CO2排出割合



特別会計

議案第56号

松前町国民健康保険

特別会計補正予算

**要旨** 今回の補正予算は、前年度の決算に伴う清算を行い、国及び一般会計に返納するもの。

また、国保事業報告システムの法改正及び元号改正に対応するための委託料を補正する。

(全員一致で可決)

議案第57号

松前町後期高齢者医療

特別会計補正予算

**要旨** 今回の補正予算は、後期高齢者医療事務処理システムの法改正及び、元号改正に対応するための改修委託料を補正する。

(全員一致で可決)

議案第58号

松前町介護保険

特別会計補正予算

**要旨** 今回の補正予算は、前年度の決算に伴う清算を行い、国と支払基金及び一般会計に返納するとともに、運営基金に積立てるもの。

また、介護保険システムの元号改正に対応するための改修委託料を補正する。

(全員一致で可決)

議案第59号

松前町公共下水道事業

特別会計補正予算

**要旨** 今回の補正予算は、平成29年度に借入れた地方債における平成30年度分の償還金額が確定したことにより補正を行う。

(全員一致で可決)

## 平成30年度一般会計補正予算概要

### 平成30年度9月一般会計補正予算・専決処分 金額

区分	当初予算額	6月補正後	専決処分額	専決処分後	9月補正額	9月補正後
本年度予算	10,013,982	10,210,195	22,226	10,232,421	-181,888	10,050,533

### 平成30年度9月一般会計補正予算・専決処分 主要事業 内訳

区分	当初予算額	6月補正後	専決処分額	専決処分後	9月補正額	9月補正後
松前小・岡田小ブロック塀改修	0	0	11,575	11,575	0	11,575
不燃物置き場ブロック塀改修	0	0	5,229	5,229	0	5,229
町営住宅ブロック塀改修	0	0	3,046	3,046	0	3,046
岡田中ブロック塀改修	0	0	2,160	2,160	0	2,160
二名・白鶴保育所ブロック塀改修	0	0	216	216	0	216
保育所・認定子ども園施設整備補助金	327,595	327,595	0	327,595	-327,595	0
障がい児通所給付	70,195	70,195	0	70,195	54,315	124,510
北伊予小・岡田小プール改修	0	0	0	0	13,360	13,360
県港湾事業負担金	0	0	0	0	12,220	12,220
公共施設温暖化対策推進	0	0	0	0	9,984	9,984
町道東6・68号舗装補修	0	0	0	0	7,500	7,500
旧松前老人憩いの家解体	475	475	0	475	6,545	7,020
横井手用水樋門負担金	0	0	0	0	6,400	6,400
小富士保育所床面改修	0	0	0	0	5,195	5,195
社会保障・税番号制度システム改修	0	0	0	0	4,731	4,731
松前幼稚園エアコン取替え	0	0	0	0	4,492	4,492
認定農業者支援補助金	0	0	0	0	3,469	3,469
生活道路改良整備事業負担金	0	0	0	0	2,830	2,830
薬用作物支援補助金	0	0	0	0	2,321	2,321
北黒田用水ポンプ改修ほか	0	0	0	0	2,300	2,300
コミュニティバス運行支援補助金	12,370	12,370	0	12,370	1,668	14,038
ブロック塀の安全点検	0	0	0	0	1,497	1,497
いちご生産拡大事業	0	0	0	0	356	356
オリジナルナンバープレート製作	50	50	0	50	346	396
はだか麦作付支援補助金	0	0	0	0	212	212

\* 補正予算の内容は、主なものを表記していますので補正額とは一致しない場合があります。



# 総務 産業建設

## 選挙公報で投票率アップを！

④8 松前町議会議員及び松前町長の選挙における選挙公報の発行に関する条例

**要旨**

公職選挙法第172条の2の規定により、松前町議会議員及び松前町長の選挙における選挙公報を発行するため、新たに制定するものである。

**問** 愛媛県議会議員選挙の選挙公報導入状況は。

(早瀬議員)

**答** 愛媛県内では、県、松山市、西条市及び新居浜市の4自治体が条例を制定し、選挙公報を発行している。なお、愛媛県下の「町」では初の実施となる。



**問** 掲載文及び写真等、申請時の審査の規定は条例で定めなくてよいのか。

(田中議員)

**答** 選挙公報における掲載文及び写真の大きさは、松前町選挙管理委員会が決定する。

更に、候補者の経歴等については、立候補届の事前審査で原稿を精査するが、基本、申請のあった内容を掲載する。

(全員一致で可決)

⑤2 権利の放棄について

**要旨**

愛媛県漁業信用基金協会の財務内容改善のため、松前町の出資金27口、135万円のうち、出資口数9口、45万円を減じることで発生する、払戻請求権を放棄することについて、議会の議決を求めるものである。

愛媛県漁業信用基金協会は、漁業者等への円滑な融資のために債務を保証する目的で昭和28年6月に設立されたが、安定した保障業務の継続、今後予測される南海トラフ大地震による漁家経営の影響等を考慮し、組織強化を図るために全国協会と合併するものである。平成29年4月に一次合併があり、平成31年4月の二次合併で完了となるが、合併前に欠損金を解消する必要があり、出資金の減資により欠

損金を補填することが必至で、出資者による払戻請求権の放棄が必要となる。払戻請求権の額は、減資口数9口、45万円×減額率となっている。

**問** 合併のメリットは。

(村井議員)

**答** 大災害により想定される代位弁済の増大に対し、安定的な財務基盤と組織体制の強化に繋がる。また、早期復旧・復興に必要な資金の事務処理上の迅速化が図れる。

(全員一致で可決)

請願第1号

日本政府が「核兵器禁止条約」に署名・批准することを求める意見書の提出について

◎請願者

2018年原水爆禁止国民平和実行委員会  
和行進四国コース愛媛県実行委員会  
実行委員長 今井正夫

◎紹介議員 金澤 浩

**要旨**

広島・長崎の原爆被爆から73年目になる。

この地球上から核兵器をなくすことは、原爆被害者の悲願であり、「非核三原則」を国是とする核兵器反対のわが国の政策とも一致するものである。

昨年7月、国連で122カ国の賛成を得て「核兵器禁止条約」が採択された。

日本政府は「目標は同じでも手段が違う」として、この条約に反対を表明しているが、今こそ日本は、唯一の戦争被爆国として地球上の核兵器廃絶に向け、国際間の調整役など主導的役割を果たすべきである。そのため、日本政府および国会に対し「核兵器禁止条約」に署名・批准することを強く要請するものである。

**継続審査理由**

請願者が提出した請願書以外の資料が議会審議に配布されなかったため、公平公正な判断のもと審査ができない。したがって調査検討が必要であると判断し、継続審査とした。

(賛成多数で継続審査とした)

# 文教厚生

## 集中支援チームで認知症の早期診断・対応を!!

営や地域での認知症対策について検討するものである。

なっている。

**問** 若年性認知症への対応はあるのか。  
 (藤岡議員)

**答** 介護保険法に基づく制度であるため、対象は40歳以上の方になる。

**意見** 適切な初期対応を行うことで認知症の重症化の防止や、ある程度の機能回復も期待できる。チームの力が発揮できるように努めてほしい。

**名称変更!!**  
 『松前町国体記念ホッケー公園』に  
 ⑤松前町都市公園条例の一部を改正する条例

④9 松前町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例及び松前町執行機関の附属機関設置条例の一部を改正する条例

**問** チームへの相談は、家族からの申出だけを受けるのか。

(藤岡議員)

**要旨**  
 町長の附属機関として松前町認知症初期集中支援チーム検討委員会を新たに設置するため、所要の改正を行うもの。

**答** 家族以外の支援者からの申出に対応することも想定している。

**問** 高齢者の運転免許証更新については連携して活動するのか。

(藤岡議員)

**問** 認知症初期集中支援チームの支援内容は。

(稲田議員)

**答** 認知症の重症化を予防するため、認知症又はその疑いのある方を訪問し面接を行う。専門医のバックアップを受けながら、必要に応じて医療機関につなげたり、適切な介護サービスなどの提案などを行う。今回設置される検討委員会は、チーム運

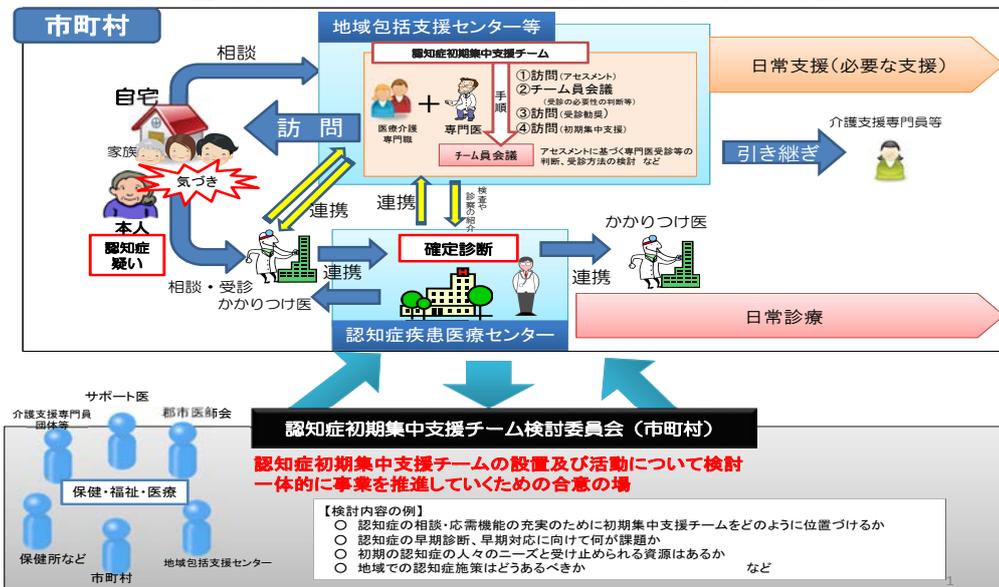
**答** 連携はしていない。認知症地域支援推進委員で対応する。

**問** 委員報酬が一般的な行政委員と同額だが、専門職の参加による報酬の増加はないのか。

(加藤議員)

**答** 委員には医師も参加されるが、チーム運営に関し意見をいただくもので医療的助言ではないため、報酬は一般的な行政委員と同額に

認知症初期集中支援チーム設置促進モデル事業の概念図



⑤0 松前町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

(全員一致で可決)

**要旨**  
 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令が施行されたことに伴い、所要の改正を行うもの。

**問** 町内に今回の条例改正に関わる施設はあるのか。  
 (藤岡議員)

**答** 現時点ではない。今後、施設ができたときに対応するよう改正を行う。  
 (全員一致で可決)

**要旨**  
 2017年愛媛国体におけるホッケー競技が行われたことを将来に伝えるため、松前町ホッケー公園の名称を、「松前町国体記念ホッケー公園」に変更するもの。

**問** 本年度予算で公園への案内看板を4ヶ所、設置予定だが変更はまだ間に合うのか。  
 (住田議員)

**答** 10月頃の入札を予定しているため名称変更による追加費用などの影響はない。  
 (全員一致で可決)

**意見** 正式名称は長いので通称を付けてはどうか、との意見があり、前向きに検討するとの答弁があった。

こんなことを決めました

⑤ 専決事項の報告1件、  
 請願1件、承認1件、報  
 告事項1件、審議案件14  
 件が上程され、即決以外  
 は各常任委員会に付託。  
 最終日の追加議案を含  
 め全議案につき十分な審  
 議の後議決した  
**(全員一致または賛成多  
 数で可決した。)**

報告事項

⑤ 専決処分の報告  
 (西公民館耐震補強建  
 築主体工事変更申請契  
 約の締結について)  
 ・ 玄関スロープ設置及び  
 既設スロープへの手摺  
 設置の追加工事を行う  
 ため契約金額の増額が  
 必要になったため専決  
 処分したものの。  
**159万円増額して、  
 変更後の請負金額が  
 6282万円となった。**

④ 専決処分の承認  
 (専決処分になった理由)  
 平成30年6月18日に発  
 生した大阪府北部地震に  
 より小学校のブロック塀  
 が倒壊した事故を受け町  
 内の公共施設におけるブ  
 ロック塀の安全点検をし  
 た結果、改修や撤去等の  
 対応が必要と確認され  
 た。早急な工事の施工で  
 経費が必要となったため  
 専決処分した。

町内23施設中8施設  
 予算額 2223万円  
**(全員一致で可決)**

⑥ 平成29年度決算に係る  
 財政指標の報告  
 平成29年度の健全化判  
 断比率及びその算定の基  
 礎となる事項を記載した  
 書類は、いずれも適正に  
 作成されているとの監査  
 委員の報告があった。  
**(左表を参照)**

平成29年度  
 健全化判断比率及び資金不足比率報告

健全化判断比率	平成29年度 (%)	早期健全化基準 (%)
実質赤字比率	—	14.20
連結実質赤字比率	—	19.20
実質公債費比率	9.1	25.00
将来負担比率	78.5	350.00

※実質収支と連結実質収支が黒字のため、健全財政です。  
 実質赤字比率と連結実質赤字比率はありません。

会計名	比率名	平成29年度	経営健全化基準
水道事業会計	資金不足比率	—	20.0
公共下水道事業 特別会計	資金不足比率	—	20.0

※資金不足額が無いため、  
 資金不足比率は  
 ありません。

追加議案

H30幹道第1号-2町道

西古泉筒井線道路改築工

事請負契約の締結につい

て

入札日(8社の入札)

平成30年8月8日

工期

議決のあった日の翌日

平成31年2月28日

請負金額

5897万4千円

工事請負業者

伊予郡松前町大字浜

1017番地

出海産業 株式会社

代表取締役

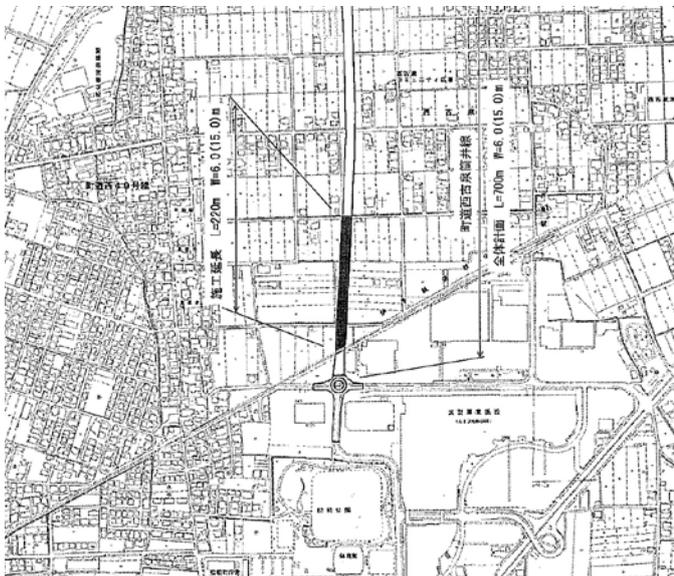
出海 満祐

(賛成多数で可決)

●議論になったこと

全員協議会で理事者  
 側の説明に対して、  
**町独自の入札方法など  
 に疑義があり、本会議  
 にて意見が分かれた。**

H30 幹道第1号-2 町道西古泉筒井線道路改築工事





# 9月定例議会

## 提出議案等への各議員 賛否表

○賛成 ●反対 △議長 欠：欠席 不：採決時不在

報告・議案等番号、内容	議員名	議員名														
		関連ページ	住田英次	田中周作	金澤浩	影岡俊範	稲田輝宏	城村トキ子	村井慶太郎	藤岡緑	加藤博徳	八束正	岡井馨一郎	早瀬武臣	三好勝利	伊賀上明治
報5 専決処分の報告について (西公民館耐震補強建築主体工事変更請負契約の締結について)	受 理	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報6 平成29年度決算に係る財政指標の報告について	受 理	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
- 請願第1号日本政府が、「核兵器禁止条約」に署名・批准することを求める意見書の提出についての継続審査の申し出の件	継続審査	8	●	○	○	○	○	●	○	○	○	△	○	●	●	●
47 専決処分の承認を求めることについて (平成30年度松前町一般会計補正予算(第2号))	承 認	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
48 松前町議会議員及び松前町長の選挙における選挙公報の発行に関する条例	可 決	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
49 松前町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例及び松前町執行機関の附属機関設置条例の一部を改正する条例	可 決	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
50 松前町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可 決	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
51 松前町都市公園条例の一部を改正する条例	可 決	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
52 権利の放棄について	可 決	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
53 平成29年度松前町歳入歳出決算認定について	認 定	2 5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
54 平成29年度松前町水道事業会計決算認定について	認 定	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
55 平成30年度松前町一般会計補正予算(第3号)	可 決	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
56 平成30年度松前町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可 決	7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
57 平成30年度松前町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可 決	7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
58 平成30年度松前町介護保険特別会計補正予算(第2号)	可 決	7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
59 平成30年度松前町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可 決	7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
60 H30幹道第1号-2 町道西古泉筒井線道路改築工事請負契約の締結について	可 決	10	○	○	●	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○

## 5 議員が登壇

- ◆赤字項目は、本文で紹介しています。
- ◆緑字項目は一部 20 ページで紹介。

### 村井 慶太郎 議員(13ページ)

- ◆小中学校のエアコン設置は
- ◆災害における事前対策はできているか
- ◆解体工事の設計委託料は必要か
- ◆町営住宅の設置備品について

### 金澤 浩 議員(14ページ)

- ◆町民を守る予算配分の優先順位は
- ◆町立保育所の建替えてでの支援は

### 影岡 俊範 議員(15ページ)

- ◆学校運営協議会の設置は
- ◆学校における働き方改革での対策は
- ◆公共施設等総合管理計画の更なる推進は

### 藤岡 緑 議員(16ページ)

- ◆子育て支援の充実に向けての対策は
- ◆子どもの貧困対策は
- ◆防災情報共有への対策と県内統一システムでの支援体制は

### 加藤 博徳 議員(17ページ)

- ◆障がい者雇用率と今後の計画は
- ◆今後の町花「ひまわり」の栽培拡大は
- ◆教育教材の利用状況と導入促進への考えは

## いっぱい 質問

# ズバリ ここが聞きたい

### 一般質問とは

●議員が町の行政全般について質問し、町長などが答弁するものです。

●議員一人当たりの発言時間は45分以内です。(行政側からの答弁の時間は含まれません。)

●一問一答を、更にわかりやすくするため、件名ごとに質問し、それだけに回答する方式にしています。

●更に回答内容について深くまた関連して質問する場合は再質問できます。

●登壇は、通告書(質問内容を要約した書類)の提出順に行われます。

すでにエアコン設置完了の岡田中学校特別教室



村井 慶太郎 議員



来年夏までに小中学校の全教室にエアコン設置予定。健康な状態で勉強に集中できます。

## 浸水被害の防止に向けた事前対策は

**問** 気象庁の情報から浸水のおそれのある地域は想定される。土のうの前日配布をしてはどうか。

**答** 和田総務課長

町としては、浸水被害の軽減を図るため、従来、住民からの土のう要請により、消防署や消防団とともに、土のうの配布を事前に行っている。

昨年の台風18号を教訓として、風水害時に円滑に土のうを配布できるように、今年度、松前消防署内へ土のう置場を設置し、常時約250袋の土のうを備蓄している。

土のうについては、可能な方ではできるだけ各自で取りに来ていただくようお願いしている。

今年の7月豪雨や台風20号の際にも、前もって

消防署へ土のうを取りに来られた方もいる。

今後、自主防災講習会などで土のうステーション(仮称)の設置と、土のう対応についてもお願いしていきたいと考えている。

以上のことから、町による前日配布は考えていない。

## 学校の熱中症対策として早期のエアコン設置を

**問** 昨今、全国的にも災害的猛暑が続いており、熱中症が増加している。子どもの命を預かる立場の学校においては、健康面からも、小中学校の普通教室にエアコンを設置するべきと考えるが、町の考えは。

**答** 岡本町長

今年の暑さは、命にかかわる暑さといわれ、学校の全教室にエアコンを設置する要望が、PTAをはじめ各種団体や町政懇談会の参加者から数多く寄せられていた。

町としては、児童生徒の生命・健康を守るために、できる限り早急にエアコンを設置する必要が

あると考えている。

政府は、「来年、夏に間に合うよう責任を持って学校へのクーラー設置を支援する」とのことであることから、その動向を注視しながら、今後、整備手法を検討し、来年夏までの設置を目指したいと考えている。

**問** 浸水被害の多い地域の消防団の分団にボートの設置をしてはどうか。

**答** 町としては、平成3

年の台風19号を契機として、平成5年に船外機付きの小型ボート1艘(そう)を消防団に配備しており、平成24年に更新している。

なお、災害時に小型ボートが必要な消防団の分団は、いつでも使用できるよう消防署で管理している。

また、民間業者と災害時における物資供給等に関する協定により、必要な場合は、要請時点で必要な数量のゴムボートを確保することができるようになってきている。

このため、更なる小型ボートやゴムボートの配備は考えていない。



金澤 浩 議員

# 町民を守る予算配分の優先順位は

**答** 仲島教育委員会事務局長

国の補助金動向を注視しながら、来年夏のエアコン設置を目指したいと考えている。費用の概算は、業者試算によると約3億円になる。

**答** 岡本町長

町民を守ることにウエイトを置く考えもあるが、それも含め全体的にどう使うかを考え予算編成をしている。事後的に事務事業評価という形で評価をし、その結果として縮小すべき事業と、廃止すべき事業もあるかもしれないことを整理した上で、次の予算に反映している。今、事務事業評価は内部評価にとどまっているが、今後は、内部評価をした上で第三者外部評価委員会を設け、外部評価を受けた上で次のPDCAという形に乗せていくことも検討する。最少の経費で最大の効

果を目指す取組をする。

**問** 国は、小中学校への補助は検討するが保育所や幼稚園は対象外である。町はどう考えているか。

**答** 楠田福祉課長

幼稚園は、全教室にエアコン設置済み。保育所は、黒田、小富士、松前ひまわり保育所の3園は設置済み。二名保育所は解体前の宗意原保育所からエアコンを移設する計画。

白鶴保育所は、利用していない保育室もあるため、必要数を見きわめる。

**問** 同じく町民を守る予算配分で、災害対策について伺う。新聞報道によると、西日本豪雨で亡くなった方の約7割が61歳以上だったということだ。

災害時、高齢者本人に対し、周囲の人々は

「誰か」「どう行動すればよいのか」という指針をしっかりと決め、周知徹底した結果、大惨事を選ける事ができた大洲市の事例が紹介されていた。当町では、町と各地域の自主防災組織が、どのように連携すれば「高齢者を救出する予防策」を万全に講じることができるのか。町の考えを伺う。

**答** 大川健康課長

高齢者は、地域の誰が、どのように支援を行うかを、事前に定める個別計画の作成を自主防災組織に対して依頼している。

現在、各自主防災組織は、避難行動要支援者への訪問調査を行うなど、個別計画の作成に向けた準備を行っている。町としては、支援方法の助言や支援者となる方への説明を自主防災組織にかわって行うなどの支援を行っているっており、今後も個別

計画作成に向けての働きかけを強めていく。

**問** 昨年12月議会時点の答弁では避難行動要支援者の個別計画策定済は1件のみとのことだったが、その後の進捗状況は。

**答** 現在も完成しているのは1件のみだ。

ただし、各地域で対象者への訪問調査を自主防災組織で行っており、その中で、聞き取りや必要な支援内容を今精査中だ。

間もなく上がってくると思うが、でき次第、計画として組み込むよう準備している。

**問** 6月議会で上程された施策に「住民票等のコンビニ交付システム」がある。町民の利便性を考えた施策だが、それよりも増して予算配分で優先すべきは小中学校のエアコン設置の方だと思つた。

**「小中学校のエアコン設置」には2つの意味がある。**

①町の次世代を担う子ども達の健康と学力増進を守る。

②小中学校は災害時の避難場所。非常時の全町民の住環境を守る。ということだ。

自由に使える予算が8億円と町長は公言されている。限られた予算の中、町民を守る予算を優先させるべきと思つたが、町長の考えは。また、設置の考えと費用の概算は。





影岡 俊範 議員



北伊予小学校 補充学習 風景



スクールサポート・スタッフ制度は、学校教育の向上充実を支える

## 学校教育と「地域連携・協働」のあり方は

**問** 努力義務化されたコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入の考えは。

**答** 本馬教育長

コミュニティ・スクール制度は、学校と地域住民、保護者が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる、地域ともにある学校に転換するための仕組みだ。当町では、PTAや地域関係機関等との連携を密にし協力を得られている。

学校経営重点事項についても、学校評価を実施する際、全保護者にアンケートで評価を受けている。

学校関係者評価で地域関係者や有識者からの評価を受けて改善を図っており、その充実を継続したいと考えている。現時点では導入は考えていない。

**問** 学校における働き方改革に関する緊急対策スクールサポート・スタッフ制度導入の考えは。

**答** 仲島教育委員会事務局長

配置の目的は、学習プリント等の印刷業務、授

境を充実させるため、地域住民等の協力を得て、社会総がかりの教育の実現のため、松前の既存の体制を活用充実させて頂きたい。

## 「公共施設等総合管理計画」の更なる推進は

**問** 個別施設計画策定についての対応を問う。

**答** 合田財政課長

今後10年間の計画期間として、この期間における各施設の改修計画や改修費用の見込みなどを取りまとめているところで、今年度中に策定する予定だ。

**問** 公共施設等総合管理計画の推進体制は。

**答** 副町長を本部長、教育長及び全部局長で構成

する推進本部や、施設所管課長で構成する推進検討委員会を当初から各部署横断的に設置し、全庁的な体制で取り組んでいる。

P D C Aサイクルの確立、総合管理計画の見直し・充実及びユニバーサルデザイン化それぞれ、当初の公共施設等総合管理計画の中で既に定めている。

**問** 国の財政措置の対象となる「公共施設等適正管理推進事業債」の活用事例は。

**答** 平成29年度は、徳丸

中川原消防詰所解体工事を、今年度も宗意原保育所や旧松前町保健センターの解体工事の財源として活用している。来年度以降も積極的に活用を図りたい。

業準備の補助等を担当させ、教員の負担を軽減し、教員が児童・生徒への指導等に注力できる体制を整備することだ。  
人件費負担の割合は国、県5分の3、市町5分の2となっている。最近では、中予管内小・中学校127校のうち19校に11人が配置されている。当町では、従来より業務改善を進め、教員の負担軽減を図っているが、スクールサポート・スタッフ配置も要望したいと考えている。



保育士さんの笑顔がみんなのやる気に！



藤岡 緑 議員

## 子育て支援の充実に向けて

**問** 女性就業率の増加と共に0から2歳児保育が増加し、保育士数や設備の関係で以下のような問題が生じている。町の考えを問う。

**答** 大政保健福祉部長

① 待機児童ゼロ対策

ここ数年、年度途中に待機児童が発生している。現在、町立保育所では特別な配慮を要する子どもへの対応と担任保育士の負担軽減のため、県条

例で定める必要な保育士数を超えて保育士を配置している。学校や幼稚園で実施している学校生活支援員を保育所にも配置できないか検討中だ。これにより配慮を要する子どもに対応していた保育士を通常の保育業務に当てることで子どもの受入数を拡大し待機児童の解消を図る。

② 保育士確保に向けて現在行われている対策と

しては以下の通り。

- ・賃金の引き上げや有給休暇の拡充など勤務条件面の改善
- ・保育関係者交流セミナー」にブースを出展し、学生や潜在保育士らに職員採用試験への応募の呼びかけをする。
- ・乳幼児を持つ保育士が町内で働く場合の町内保育所への優先的入所の方策の検討。保育士養成機関の保育実習や中学校の

職場体験学習、伊予高生の保育所ボランティア活動受入れを積極的に行うなど、保育士を職業とする選択を契機にと期待している。

今後も先進地の視察研修内容なども参考に検討していきたい。

更に第二期松前町子ども子育て支援事業計画の策定に向け保育サービスのニーズ調査を行い、保育需要を把握した上で保育士確保を進めていく。

## 子どもの貧困対策全般と行政の役割は

**問** 子どもの貧困対策として行政の役割について問う。

**答** 大政保健福祉部長

① 町の支援は

生活の支援として、放課後児童クラブの設置促進子育て支援として実施している「こんにちは赤ちゃん事業」を通して子

どもや保護者に支援が必要とする場合、母子保護事業と連携し継続して家庭訪問や育児相談を行っている。支援の必要な子どもの早期発見と適切な対応に努めている。

経済的支援として一人親家庭への特別な配慮として放課後児童クラブの保護者負担金の軽減や医

療費の一部負担なども、子ども食堂の実施で、貧困による子供だけの食事をなくし、町内の幼児や小学生を対象に食事や学習、遊びの支援を社協や地域ボランティアが中心に行う事業もある。

**答** 本馬教育長

② 教育の支援から

学校現場で基本的な生

活習慣を身に付けさせ、学習の遅れのある児童生徒への学習支援をする。進学や就職支援を充実させ貧困家庭の子どもの教育の機会均等を図っていききたい。



加藤 博徳 議員



中川原で栽培しているひまわり

## 松前町の障がい者雇用率について

**問** ①障がい者雇用率

の水ましが問題となっているが松前町の雇用率は。

②官公庁では、障がい者手帳等の確認規定が無いが、どのように確認しているか。

③公平、公正はどのようにしているか。

**答** 和田総務課長

①平成30年6月1日現在で松前町の障がい者雇用率は、障がい者の雇用の促進等に関する法律に規定されている法定雇用率の25%に対し、町長部局が27%、教育委員会が38%である。

②障がい者の確認については、本町では身体障がい者のみのため、身体障害者手帳の提示を求めている。

③障がい者採用試験により採用した者については、採用後に記載内容を確認

している。

障害者手帳を根拠としているので、公平かつ公正な事務手続であるといえる。

## 町花ひまわり栽培、今後の方針は

**問** ひまわり栽培は、耕作放棄地対策や、3R「環境にやさしい松前町」の取組として栽培し、種子から油を搾り、軽油に精製し環境にやさしい油として町のディーゼル車に使用している。昨今では、種子の採取は専用コンバインで行いつついるが、老朽化が進み不安がある。この事業の今後の方針は。

**答** 重松町民課長

町では、「バイオマスタウン構想」に基づいて、平成18年度より「ひまわり」の種から油を採取して、食用や燃料として活用するバイオマス推進事業を行っている。

バイオマス推進事業によるひまわりの種の搾油量は、平成18年度から29年度までに1620リットルで、これをバイオディーゼル燃料に精製し、

公用車やひまわりバスに利用している。

これによる二酸化炭素の排出削減量は、約4トンになる。これは、1年間に杉の木約285本が吸収する二酸化炭素の量に相当する。

このバイオマス推進事業は、愛媛県では松前町だけの先進的な事業である。

資源のリサイクルを行うことにより、環境負荷を低減し、地球温暖化防止に寄与する事業である。さらに町の環境政策のシンボリックな事業であることから、今後も継続する。

農地の保全、景観形成はもとより、バイオマス

# 研修報告

## 目的

保育士確保対策を学びに

文教厚生  
常任委員会

(8月23日～24日)

### 研修1日目

#### ●研修地

千葉県船橋市

#### ●研修内容

船橋市の保育士確保の取組は全部で9項目

- ① 保育士の処遇改善として  
「ふなばし手当」↓給与  
へ年間約58万円の上乗せ  
補助(私立園対象)
- ・臨時保育士賃金の引き  
上げ(公立園対象)
- ・常勤保育士の採用増  
(公立園対象)
- ② 保育士宿舍借上事業  
(家賃補助)

- ③ 保育士養成修学資金  
貸付事業(市単独事業)  
指定保育士養成施設で  
ある学校の学生に月額  
3万円を貸付。卒業後、  
市内の保育園等保育士と  
して正規の修学期間以上  
勤務した場合、返済を免  
除。
- ④ 保育士キャリアバン  
(現在は船橋市保育協議  
会が市の補助事業として  
実施)

- ⑤ 私立保育園合同おし  
ごと相談会  
年2回開催。船橋市保  
育協議会・ハローワーク
- ⑥ 保育士就職支援研修  
会  
年2回おしごと相談会  
開催(潜在保育士も参加  
できる)、保育士として  
の就職に結びつく研修会  
の実施。
- ⑦ 保育職場復帰支援事  
業  
年1回実施。潜在保育  
士等が円滑に復帰できる  
ように、実習受入園(公  
立私立)と実習希望者を  
市がコーディネート。ま  
た、実習時の保険を市の  
負担で加入。
- ⑧ 保育士就業継続支援  
研修  
年4回実施。現役の保  
育士(公立私立)を対象  
に、保育士としての就業  
継続に資するように各種  
研修会の実施。
- ⑨ 保育士の子供の優先  
入所  
市内の保育所等に勤務  
する保育士の子どもの優  
先入所。  
以上のような取組が行

われていた。  
◎その効果等は  
☆「待機児童解消緊急ア  
クションプラン」が平成  
27年度に作成され劇的に  
待機児童数が減少。  
☆3つの支援メニュー  
(給与の上乗せ補助・月々  
の家賃補助・修学資金の  
貸付)の補助を状況によ  
り増額し、また国の補助  
なども利用した。  
☆修学資金の貸付、保育  
士試験による資格取得支  
援により志願者は増加。  
☆保育士の研修は年4回  
実施し、給与の上乗せ、  
家賃補助は基本的には今  
後も継続していきたい。  
☆保育関係では3つの課  
を設け、各支援に平成30  
年度予算で約12億円が予  
定されている。



### 研修2日目

#### ●研修地

東京都杉並区

#### ●研修内容

「杉並区の保育士確保  
支援策について」

- 【補助金等】
- ・人材広告費補助  
保育人材の募集に必要  
な広告費宣伝費、会場借  
上料等(区の単独事業)
- ・宿舍借り上げ支援事業  
国・東京都の補助事業  
を活用して月額8万2千  
円を上限とした支援事

- ・商品券支給  
4月1日に公立を除く  
区内の保育施設に新規採  
用された保育士に対し  
て支給。区内共通商品券  
5万円。
- ・これから保育士になろ  
うという人へのチラシ作  
成(新規開設保育所事業  
者紹介リーフレット…  
4千部作成)



『待機児童解消への杉並区の取組』

☆区長のトップダウンによる待機児童解消への熱心な取組。

☆待機児童の定義を独自に「区の定義」を設け、

国の示す定義に、「ベビーホテルに預ける方・ベビシッターを利用する方・育児休業を延長した方・求職中のひとり親家庭」等を加え、より実態を踏まえた待機児童の定義としている。

☆保育士資格を持ちながら勤務していない「潜在保育士」に目をつけ、3年以上保育士として勤務していない人を対象に新規採用時に5万円の商品券を支給。

### ●今後に向けて

研修先がいずれも財政規模の大きい所だったので、全ての施策を参考にはできないが学ぶべき点が多かった。担当職員も同行していたので、今後に期待したい。



窮地が育てるアイデアに研修の成果が...

## 第一回町議会議員研修会に参加して

7月25日、議会議員研修会が、メルパルク松山にて実施された。



### ○前半

講師 佐伯 啓思氏  
京都大学こころの未来研究センター特任教授

### 演題

「日本経済再生への期待と不安」



演題から、アベノミクスは間違いか正解か、言い切れない。

### 第三の矢である成長戦略には疑問がある。

これからの時代は経済成長ではなく、数値で表すことが難しい。

生活の質や人との関係性を、充実させていくことが暮らしを豊かにする上で重要である。

そのためには、公共が大きな役割を果たす。地方自治体の方が中央より政策を進め易い、とのことだった。

### ○後半

講師 呉 善花氏  
作家・拓殖大学国際学部教授

### 演題

「日本・朝鮮半島・近未来に起きること」



韓国済州島生まれ来日30年で第三者的な考え方に基づいた講演であった。

「現在、日本と韓国・北朝鮮の考え方には大きな違いがあり深い溝になっている。」

韓国の文大統領の両親は北朝鮮出身のため大統領は親北朝鮮。南北融合政策をとる場合、反日政策でまともなうとする。慰安婦問題を引き合いに出して、拉致問題をうやむやにしかねない。安易に北朝鮮と会談す

### 研修後の感想

#### ○前半

松前町も一自治体として住民の声を聞き身近な政策を進めていくことで、暮らしの充実につなげていくことができるのではないかと感じた。

#### ○後半

北朝鮮による拉致問題の解決は長年の重要課題である。

日本人として国民一人ひとりが人権問題として捉え、関心を持つことが大切だと感じた。

# ★これも気になる一般質問

**Q** 町営住宅の退去者が出た後、浴槽や給湯器などを撤去しているが、使用できるものは撤去せず、入居者の負担を軽減する考えはないか。

**A** 新たに入居される方の費用負担の軽減などを考慮し、退去者が財産放棄した使用できると思われる設備については、そのまま残しておくことができるよう、検討したいと考えている。

(村井議員の質問より)

**Q** 昨年の答弁で町立保育所を新築する場合、国の支援は無いが民間ならあるため、絶対的にコスト面で民間の方が効率的だと説明を受けた。しかし、その後の調査で、国は私学と公立で補助の差異が生じないように地方財政措置を講じている事が判明した。二名保育所を閉園にする判断をした昨年の理事者説明に不備があるのではないか。

**A** 改めて調べ直した結果、補填のある起債がある事がわかった。今回の交付税措置の判明した部分、起債、それぞれについては今回大変反省している。これを受けて、今後はそういう財源のところも議会に説明しながら進めていきたいと思う。

(金澤議員の質問より)

**Q** 今年3月に購入した「道徳用DVD」の購入後の利用活用状況と、その成果は。

**A** 平成30年度から小学校で「道徳」が教科化され、道徳のDVD教材を購入し各小学校において授業のねらいに即して適切に利用している。学級担任によって使用回数の差はあるが、1学期の道徳の授業時間数の7割程度利用している。

**Q** 英会話用AIロボット導入について。

**A** 現時点で、AIロボット導入は考えていない。

(加藤議員の質問より)

## ちょっと一息



今年の松前の運動会は、小・中ともに天候に恵まれ、子どもたちにとってもいい思い出になったのではないのでしょうか・・・その中のワンシーンとして紹介します。



北伊予中学校運動会より



## 愛顔つなぐえひめ国体決算報告



平成25年度以降、国体開催（運営）に要した費用

〔使ったお金〕

国体・リハーサル大会開催にかかった費用（運営事業費）

**2億9825万円**

国体・リハーサル大会運営にかかった人件費

**2150万円**

〔入ってきたお金〕

国体・リハーサル大会運営のため愛媛県からもらった補助金

**1億1293万円**

(1万円未満は四捨五入しています)

町民の声

『防災減災』に一言

頑張ってます青年部

東日本大震災の経験により東北の方では、防災意識が高く、対策が迅速かつスムーズだと聞きましました。松前町では今のところ甚大な天災もあまりなく、住みやすい町であります。しかし災害は、い

つ起こるかわかりません。

人口密度で言えば1km当たり1514人(2017年)で愛媛県下でも多く、災害が起こった際には、被害が大きくなる可能性が高いと言えます。

商工会青年部では今回の集中豪雨の際、野村町に支援物資を届けました。松前町商工会では、愛媛県、中予、松前町、と携帯のLINEグループを作っており、いち早く災害状況を把握すること

が出来ました。

そのため現場が必要としている物資を届けることもできました。松前町でも同様のネットワーク作りが必要だと思えます。ここ数年間に想定外という言葉をよく耳にします。

地球規模の異常気象により、日々刻々と変化していく生活の中で、一人一人が防災意識を高めていくことが必須であると感じます。今後も地域防災減災に頑張ります。

傍聴席

初の『傍聴会』

浜 尾崎 勝

9月の一般質問の議会に初めて傍聴に行かせて頂きました。

事務室の職員の方に丁寧に案内してもらい、綺麗に整えられた議場に案内してもらいました。内容としては、最近の

増えつつある災害のための防災、熱中症対策のための学校へのエアコン設置、また公共施設などについての議題が出ていました。

傍聴に参加して、こういった事を私たちももっと関心を持って知っていくべきだと感じました。

もっと多くの人に街の動きが分かりやすくなるように松前町のホームページや、議会使りの見開きを簡素化しながら決

まったことを伝え、その後のページで細かく報告したり、住民サービスにつながるようにしていければ良いなと感じました。



次回12月定例議会の開催は平成30年12月4日(火)を予定しています。内容は補正予算の審議となり皆さんの生活にも関連しますので是非傍聴に来て下さい。

「町民の声」をお寄せ下さい

ご意見・ご要望などをお寄せください。

次号議会だよりの掲載の締切りは11月末です。

投書多数の場合は、委員会掲載文を決定させていただきます。あらかじめご了承ください。

300字程度で必ず名前・住所・連絡先・ペンネーム(希望する場合)をお書きください。

【宛先】  
松前町筒井631  
議会広報常任委員会「町民の声」  
Fax 985-4148  
E-mail  
500gikai@town.masaki.ehime.jp

傍聴のご案内

住所・氏名・年齢を届けるだけで、どなたでも傍聴できます。

議会は、本会議と各常任委員会に傍聴席を設けて公開しています。多くの方の皆さんの傍聴をお待ちしています。

本会議は、町ホームページでライブ中継を行っています。また、議会終了後、録画配信も行っています。ご覧ください。





# 松前町で生きる & みんなで支える

## 夢は大きく、人間形成も楽しい少年少女野球から！

チーム名(仮称):  
恋泉野球チーム  
練習場所:  
西古泉公民館グラウンド  
練習日:土曜日 午前10時～  
日曜日 午前9時～  
12時まで  
連絡先(事務局)  
TEL:089-985-0556  
(伊藤和彦監督)  
料金:全て無料  
(ボール以外は持参)



★初心者向け少年少女野球教室を開催しています。体験・見学会も随時実施しています。  
★チームの趣旨は、将来ある子供たちに野球の魅力や楽しさを伝え、協調性・我慢・集中力・責任感の向上にあります。更に健康増進と、大切な時期の人間形成を育むものとしています。  
★来年度から小学1・2年・園児それに母親を含めた、ティーボールチームに取組みます。  
★現在、(女子2名を含む)小学生6年1名・5年3名・4年3名・3年3名が、がんばっています。



**伊藤和彦監督にインタビュー**  
「走・攻・守で体の全てを使う野球の魅力を楽しんでほしい」  
モットーは「習うより慣れる」  
★野球の底力を広めたい

### まちの話題 住み慣れた地域で 安心して暮らせるために！

★長寿を祝い、敬老会でア活動に参加する。  
★国道清掃のボランティア  
★旅行を楽しみ、しめ縄作り体験をする。  
★北公民館の寿大学に参加し、**教養を高め**、一日旅行を楽しみ、しめ縄作り体験をする。  
★国道清掃のボランティア  
★長寿を祝い、敬老会でア活動に参加する。

★月1回の集いで歌や体操レクリエーションの後、会食しながらの楽しい会話で**健康寿命を延ばす**。  
★七草粥の集いで、豆々しく**健康で円満な生活**が出来るよう、お互いに意識し合う。  
★どんど焼きの「ぜんざい」作り、春祭りの餅まき用の餅つきで、地域と共有し**三世代交流**を図っている。  
★北公民館の寿大学に参加し、**教養を高め**、一日旅行を楽しみ、しめ縄作り体験をする。  
★国道清掃のボランティア  
★長寿を祝い、敬老会でア活動に参加する。

老人会って何しよるん？  
勧誘に訪問すると、こんな言葉を耳にする。ここで、主な年間行事を紹介する。  
北川原老人会(通称:北川原たんぼぼクラブ)は、会員125名で活動している。

#### 親交を深める。

★健康増進バスツアーに参加し、カラオケ大会で**親睦を図り**、温泉歩行でリラクセス。  
★年度末の総会では、長寿喜寿の方を招待して、表彰状と記念品を贈呈するとともに**料理でもてなし、祝福**する。

わたしの想いは、若い会員増加により、楽しく活性化した活動を心より切望してやまない。

北川原たんぼぼクラブ  
会長 茂川美津子



餅つき作業は皆で汗を...

### 編集後記

★本日に災害の多い年だ。6月の北大阪の地震から7月の西日本豪雨災害、9月の北海道巨大地震、相次ぐ台風、そして夏の猛暑。  
★松前町は山がないため、土砂崩れはないが、大雨洪水の被害は、要注意だ。  
★エアコンも来年の夏までには、小、中学校に配備されそうだが、。  
★年々決算審査で災害対策費用増が目が行く。  
★議会も、減災に向けた取組を注視していきたい。

- 議会広報常任委員会 (藤岡 緑)
- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 藤岡 緑  |
| 副委員長 | 金澤 浩  |
| 委員   | 加藤 博徳 |
| 委員   | 稲田 輝宏 |
| 委員   | 影岡 俊範 |
| 委員   | 田中 周作 |
| 委員   | 住田 英次 |



この広報誌は、資源保護と環境に配慮して大豆油インキ、再生紙で作成しています。